

第2回足こぎ車いす研究会年次学術集会プログラム

期日：2012年2月4日（土）

場所：仙台市太白区文化センター展示ホール（地下1階）

プログラム：

1. 開 会 10時30分

*開会の挨拶：足こぎ車いす研究会会長 半田康延

2. 第一部 10時35分～12時20分

【パネルディスカッションⅠ】 座長：東北大学サイバーサイエンスセンター 吉澤 誠

東北大学大学院医工学研究科 渡辺高志

<足こぎ車いすの臨床応用と高インテリジェント化への展望>

*大学研究室からの研究開発報告（各15分）

竹内栄二郎（東北大学大学院情報科学研究科）

平田泰久（東北大学大学院工学研究科）

「回生ブレーキ制御による足こぎ車椅子の高機能化」

杉田（東北大学サイバーサイエンスセンター）

渡辺高志（東北大学大学院医工学研究科）

*足漕ぎ車椅子を使った臨床的な新しい取り組み（各15分）

美希病院 赤羽 功自《PT》「足こぎ車イス操作について ～操作困難の原因の検討～」

千葉 秀樹《OT》「足こぎ車イスの応用的利用について

～ショッピングカートの作成～」

岩手病院 三澤 亮 「当院における足漕ぎ車椅子の事例報告」

*指定発言：猪狩（仙台保健福祉専門学校）

* ディスカッション（15分）

【足漕ぎ車いすデモンストレーション】

<片麻痺患者さんによる駆動実演>

* 登米市在住 佐藤善一さん

休 憩（昼食） 12時20分～13時15分

幹事会（太白区市民センター3階中会議室）

3. 第二部 13時15分～14時55分

【パネルディスカッションⅡ】 座長：仙台保健福祉専門学校 関 和則

(株) TESS 鈴木堅之

<被災者介護における足こぎ車いすの役割と教育・経済効果>

* 足漕ぎ車椅子研究会から-震災後の活動について- (15分)

基調報告：関 和則 (仙台保健福祉専門学校)

活動報告：関矢貴秋 (仙台大学体育学部)

* 介護教育における足漕ぎ車椅子の位置づけ (15分)

関矢貴秋 (仙台大学体育学部)

「足漕ぎ車いすを活用した介護教育の取り組み」(仮)

* 生活不活発病の防止と介護 (各15分)

中村聡樹 (株式会社地暮)

「Mather's Caféと足こぎ車いす-被災者の介護予防への提言-」(仮)

田中雅子 (富山県福祉カレッジ)

「介護現場における足こぎ車いすの活用と展望」(仮)

* 中小企業連携 (被災地発の新しい産業としての足漕ぎ車椅子) (各15分)

南相馬企業グループ

「南相馬企業グループのこれまでの活動」

陳 子堅 (株式会社HHIC)

「海外展開の進捗報告および介護医療現場での実践へ向けて」

* ディスカッション (20分)

4. 第三部 15時00分～16時00分

【講演】 座長：仙台保健福祉専門学校/東北大学医学系研究科 半田康延

演題：「現代版“論語とそろばん”」

～社会問題解決に挑む中小企業ビジネスの実践～

講師：立教大学経済学部 教授 山口義行氏

主催：走行環境適応型足漕ぎ車椅子研究会 (管理法人(株)インテリジェント・コスモス研究機構)

共催：学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校